

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28年 6月 20 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105065
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホームひばり
所在地	鹿児島市吉野町2042番地 (電話) 099-295-7033
自己評価作成日	2015年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年5月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人一人のペースや時間を大切にしながら可能な限り本人の思い「～したい」の実現が出来るように取り組んで居る。また、季節の行事や風習を大切に四季を感じる事が出来るようにしている。入居者のその時を大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○施設は鹿児島市の住宅団地内に建てられ、開設10年が経過し地域住民に身近なホームとして周知されてきている。日常的に家族や友人知人の来訪が多く、また、施設の行事に地域の住民の参加も得られている。ホーム周辺の清掃を積極的に実施したり住民から介護や高齢者福祉に関する相談も寄せられるなど、信頼関係も構築されてきている。今後はより地域と密接な交流を図るため、地域のイベント等に準備段階から参加する取り組みも検討中であり、さらに深い信頼関係が構築されるものと期待される。

○管理者及び職員は、常に利用者の尊厳や誇りを大切にしながら思いの把握に努め、利用者が地域の中で馴染みの人々と暖かく交流しながら安心・安全に、その人らしい生活が継続できるように支援している。日常の支援の中で利用者の尊厳やプライバシー保護に反する言動が無いように、特に丁寧な言葉遣いを心掛け、ケアの中でお互いに注意や意見交換を繰り返して改善を図っている。また、利用者の希望等には迅速に対応するなど利用者のその時その時を大切にケアの実践に努めている。

○管理者は、職員間の協力体制や利用者・家族との信頼関係の確立が、サービスの向上に繋がると認識しており、日頃から要望や意見等の把握に努め、出された課題には速やかに職員全体で改善を図っており、職員及び家族等は意見や要望等を気軽に述べられる関係が築かれている。併せて、職員のスキルアップにも法人全体で取り組んでおり、施設内研修を計画的に実施すると共に、外部主催の研修にも状況に応じて意欲的に参加できるように単位制自己選択勉強会や介護技術向上を目的とした試験の実施など工夫した体制が構築されてモチベーションアップに繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、毎朝申し送り時に唱和することで、確認・共有し支援に努めている。	開設時に作られた理念は、目に付きやすい玄関に「職員の心構え」と共に掲示し、毎朝の申し送り時に全員で唱和している。毎月開催の職員会議や勉強会、日常の支援の中で研修や振り返りを実施して、理念の理解と理念に添ったより良いケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩等で顔見知りの関係づくりに努めている。また、地位交流会などの行事を通して交流を深めているが、日常的にとまではいかない。	自治会に加入しており、開所以来、施設周辺の清掃を継続するなど地道に地域との交流に努め、地域の人から高齢者福祉や介護の関する相談等にも丁寧に対応している。ホーム行事である餅つきや芋ほり、花火大会に地域住民の参加があり、また、ボランティアや中学生の職場体験や実習生の受け入れも積極的に行っている。今後は地域のイベントにも準備段階から参加して、より地域に密着した交流を検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症に関する相談、事業所見学等随時受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を実地している。会議内容はスタッフへ伝達され、サービスの向上に生かすようにしているが全員が把握できているところまで来ていない。	会議は、家族や長寿あんしんセンターの職員、民生委員、住民代表等の参加を得て定期的に開催されている。ホームの現況や行事・問題点に関する意見交換のほか、防災や介護保険、福祉制度に関する勉強会、地域の情報交換、他機関の紹介等も行われている。内容は議事録で職員にも周知されてホームの運営や利用者へのサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	連絡・連携を取っているが、積極的な関わりは不十分である。	行政職員には運営推進会議に出席して貰うと共に、介護保険の更新や諸手続き及び報告等の際に訪問や電話で相談を行って、助言・指導を頂くなど密に連携を図ってサービス向上に取り組んでいる。また市が主催する会議や研修等にも積極的に参加して情報や意見の交換を行うなど協力関係を築いている	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止委員会を中心にマニュアルを作成し、勉強会を行い理解に努めている。日中は施錠していない。	身体拘束廃止や権利の擁護については、計画的に研修を実施して理解を深めると共に、身体拘束廃止委員会が作成した職員向けの標語も掲示している。日頃の本人や家族の言動などから思いを汲み取り、利用者に応じた声かけや寄り添い見守りに努めており、特にスピーチロックや言葉遣いについては職員相互に注意し合う等、拘束の無いケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束防止委員会を中心に定期的に勉強会を行っている。高齢者虐待については標語募集やアンケートを行い、意識向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会や研修等で学ぶ機会があるが、全スタッフが細かく理解しているとは言い難い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や改定時は家族に十分に説明を行い、理解・納得を得るようにしている。また、不安や疑問にはしっかり答えるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱の設置やアンケートを実施している。スタッフと利用者様・家族が話しやすい関係作りに努めている。頂いた意見・要望はスタッフ間で共有、反映させている。	利用者の思いや意見は日常の会話や表情、所作の見守りで把握に努め、家族の意見や要望等は運営推進会議や家族会、来訪時の対話、電話等を通じて利用者の状況を伝えながら聞き取っている。職員は「連絡帳」や「個別日常生活日記」で情報の共有を図り、迅速に協議してサービスの改善に努めており、経過や結果については本人や家族にも報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個人面談の実施や日頃から話しやすい環境が出来ている。	管理者は日常的に話しやすい雰囲気作りに努めており、意見や提案を業務の中や申し送り、職員会議等で聞き取り、また、状況に応じて個別面談も実施して把握し、出された意見は速やかに協議して業務やサービスの改善に繋げている。また、勤務シフト作成や外部研修の参加、資格取得についても可能な限り希望にそってバックアップするなど、より良い職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	カウンセリングシートの入力や、目標設定をし、向上心を持って働けるように環境整備されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内部や外部での研修機会が多くあり、希望すれば参加できるような環境が整っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入し、交流を持っているが全スタッフが関わっているとはいえない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居の際に本人・家族から話を聞き、不安や要望に応えることができるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に見学に来て頂いたり、電話等でも話を聞く機会を設け、不安なこと、要望を聞き、より良い関係作りが出来るように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族との話から今、必要なサービスを提供できるようにしている、</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で出来ることは続けて頂くことで、共に暮らしていく関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ひばり便りで近況報告をしている。また、こまめに連絡を取り、共に支えていく関係作りを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所へ出かけたりしているが、全ての利用者様に出来ているわけではない。	利用開始時に本人や家族、関係機関から、生活歴、家庭環境、地域との交流状況等を聞き取り、情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり話せる場を配慮したり、墓参りや美容室、買い物、一時帰宅等、馴染みの人や場との関係の継続に家族と連携して支援している。季節毎の衣服の交換を依頼する等、家族の来訪の機会を増やす工夫を行い、また、遠方の家族とは電話や手紙の取り次ぎで関係性の継続を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の性格や関係性を考慮し、スタッフが間に入るなどして関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院中はお見舞いに伺ったりしているが、全ての利用者様に行えているわけではない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族から話を伺い、意向や希望の把握に努めている。	利用開始時の聞き取り情報や日常の対話や表情から思いや意向を把握するように努めている。申し送りや職員会議等で共有を図り、家族とも連携しながら迅速な対応を話し合い、可能な限り利用者の思いに添ったより良い支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からこれまでの生活歴を伺い、把握に努めている。また、シートに記入するなどしてスタッフ間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別記録や生活日誌に記入し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングやカンファレンスで話し合い、家族の意見も伺いながら介護計画を作成している。	介護計画は、利用者や家族の意向や希望及び医師、担当職員からの情報を基に、職員全員で意見交換してきめ細かな介護計画を作成している。計画には各利用者の課題と改善目標等を明確にし、ケアの方法や受診状況等も詳しく記載されており、実態に添ったカンファレンスやモニタリングを繰り返して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や気付いたことは個別記録や連絡帳に記入してスタッフ間で共有している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>日々の様子や気付いたことは個別記録や連絡帳に記入してスタッフ間で共有している。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事への参加や外出計画を立てて外出したりしているが、全ての利用者様には出来ていない。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>法人内の病院がかかりつけ医となり、連携し適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>利用者個々の利用前の受診状況を十分に把握し、本人やご家族の希望する医療機関での受診を適切に支援している。主治医による定期的な往診が多いが、通院は家族もしくは職員で対応しており、協力医療機関とは24時間体制の連携をとっている。受診の状況は「受診記録」に記録され、家族や医師との連携も適切に行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の訪問看護の際に報告・相談を行っている。また必要に応じて受診出来るようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>サマリーの作成や、面会時や電話等で情報交換を行い、連携している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に説明を行い、重度化した際には再度、説明を行い、関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、入所時に「重度化した場合における対応に係る指針」で説明して本人や家族の理解を得ている。1年に複数人の看取りをすることもあり、その都度介護のケアの内容や反省を実施してスキルアップを図り、併せて職員の不安の除去や介護技術の向上に向けての研修にも取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成し、勉強会を開催しているが、全てのスタッフが身に付けているとは言い難い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>月に1回防災訓練を行っている。また、年2回は消防を交えての訓練・講習も行っている。地域を交えての訓練はなかなか実施できずにいる。</p>	<p>夜間想定を含む通報、避難、消火の訓練を消防署も参加して隣接の3施設と合同で年2回実施し、訓練後は消防職員による災害に関する講話や消火器の取扱い等の研修も行われている。また、毎月自主訓練を実施して災害に対する意識を深めている。災害発生時の飲料水や食品の備蓄、懐中電灯やカセットコンロ等の整備及び自動通報装置、スプリンクラーが設置されている。地域住民参加の防災訓練の取り組みを検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬語を使うようにしている。排泄時、入浴時、訪室時などプライバシーに気を付けるようにしているが、時々、配慮に欠ける部分もある。	利用者の人格や誇りを損ねるような言葉かけや対応を行わないためにサービス向上委員会が主となって計画的に研修を実施して認識を図っている。併せて日々の支援の場で職員相互に注意しあい、特に言葉づかいについては常に意識して適切なケアの対応に取り組んでいる。個人記録の取り扱いや居室、浴室、トイレについてもプライバシーの確保に徹底した配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から本人の思いや希望を聞くようにしている。一つ一つ自己決定出来るように尋ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ利用者様一人一人のペースに合わせて過ごして頂けるようにしているが、出来ない部分も多い。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服を選んで頂いたり、肌の手入れや必要に応じて化粧をしたりもしている。美容室にもお連れしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューのリクエストを伺ったり、出来る範囲で下準備や配膳・下膳などを手伝って頂くように努めているが、十分ではない。	利用者の嗜好や身体状況、栄養バランスに配慮しながら、季節感を大切にした食事を利用者と一緒に作っている。おせちや誕生会、敬老会等の行事食のほか、園庭での弁当、レストランでの外食、出前、誕生会の希望食、餅つきや芋ほり、手作りのおやつ等、食事が楽しみな物になるよう工夫し、栄養バランスについては管理栄養士の助言指導を受けて改善を図っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士にチェックしてもらい、バランスに注意している。食事量、水分量も毎回チェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、出来ない部分は手伝うようにしている。ご自分でされる方はチェックのみ行っているが、十分ではない。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表に記入し、必要に応じて声掛けの時間の変更など対応している。日中は布パンツに履き替えて頂き、出来るだけトイレに座って頂くようにしている。	利用者の見守りや排泄チェック表で、利用者毎の排泄パターンの把握に努め、可能な限りトイレで排泄できるように支援している。全居室にトイレが設置されておりプライバシー保護も十分である。利用者個々に合ったケアの方法や介護用品を工夫し介護計画に反映させて改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事メニューに気を付け、水分や乳製品を摂って頂くようにしている。また、適度な運動も心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴曜日は決めているが、本人のタイミングに合わせるようにしており、入浴曜日以外でも入浴できるように対応している。	入浴は週3回を基本としているが、計画日以外の入浴希望にも柔軟に対応している。個室で同性介助で対応し、利用者の好みの温度や時間、季節によってしょうぶ湯等の工夫をし、ゆっくり楽しんでいただき、身体の異常の観察や皮膚疾患の手当も行っている。入浴を渋る利用者には、無理強いないで声掛けや介護者、時間の変更等工夫して利用者の意欲を待って入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	様子を見ながらお一人お一人に合わせて休憩して頂いている。夜はその方に合わせた時間に就寝して頂き、音や照明にも気を付けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表で確認、把握できるようにし、変更時は申し送りや記録等で情報共有している。全てを把握できてはいない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方に合わせてお手伝いをして頂いたり、散歩や買い物、ドライブなど気分転換出来るように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩や買い物、季節ごとに計画を立て出かけたりしている。家族にも協力をもらっている。	健康状態や天候に配慮しながら、本人の希望に沿って、また家族とも協力しながら日常的な散歩のほか、初詣、ミニドライブ、外食、墓参り、買い物、一時帰宅、美容室などに出かけている。可能な限り楽しく外出できるように工夫しており、利用者の身体能力に応じて、リフト車や車いす等も適切に活用している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で財布を持っておられる方もおり、そこから支払いをされたりもする。本人の希望があればお小遣いから購入できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望時には電話が出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じて頂けるような飾りを飾ったり、花を飾るなど工夫している。</p>	<p>広い敷地に、平屋建てのホームは全体的に余裕があり、小規模多機能ホームとも廊下で行き来できる構造となっている。リビングには、テーブルセットやソファ、テレビ等が適切な間隔で配置されている。広い畳部屋とウッドデッキもあり、生花や花鉢、利用者の作品、写真等が飾られて、和やかで落ち着いた雰囲気となっている。清掃や整頓に心がけ、空調、採光、防臭にも細かに配慮して居心地良く過ごせる環境づくりがなされている。園庭には多種の花木が植えられ、他施設の利用者との交流や外気浴をする憩いの場となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>それぞれお好きなおところで過ごして頂けるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>元々、使っておられた物を持ってきていただいたり、馴染みの物を持ってきていただいている。配置は勝手に変えないようにしている。</p>	<p>全居室、掃出し窓とウッドデッキ仕様の畳部屋となっており、エアコン、洗面台、トイレが備えてある。家庭と同様に落ち着いて過ごせるように、ベッドや家族写真、小タンス、整理棚、食器、小物等が持ち込まれて、その人らしい和やかな空間づくりがされている。清掃や整理整頓には家族の協力もあり、プライバシーに十分配慮された衛生的な居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりが設置しており、段差なく、また車いすでも安全に移動できるようなスペースが確保されている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申送りの際声を合わせ読み上げることで理念を共有するようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流会を通じて近所の方々と交流を図るようにしている。又町内会への参加、清掃作業も行っている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	広報誌づくりを行っている。認知症についての勉強会を行ったことはあるが継続して行うことはできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進委員会を行うことができています。家族に参加していただいている。職員は参加できていないことが多くあとから議事録を通して確認するようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村との連携は管理者が行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に委員会による勉強会があり学ぶ機会がある。又、各棟に身体拘束を行わないためにと いうことで標語を貼っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を通して定期的に学ぶ機会がある。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度についての勉強会 は行われていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前・入居時に説明を行っている。改定に関してもその都度せつめいを行い理解を求めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置やアンケートを行っている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に2回の勉強会を通して話を行うようにしている。定期的に面談を行う機会もある。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2回の人事考課を通して個々の能力を把握できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外での研修・介護マイスター研修・単位制勉強会などに参加している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修や研修生の受け入れを通して事業所との交流を図っている。吉野地区の「よかど会」にも在籍しており勉強会や懇親会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に本人や家族から話を聞きかんふあれんすを行うようにしている。新しい環境に慣れていただくため話しかけ、ご本人が過ごしやすいような環境を作るようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	些細なことでも報告を行ったり、来所された時にはこちらから話しかけるように気を付けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当者会議を含め何を望まれているのか聞き出せるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊敬することお炉を大事にしながらできることはご自分でできるように声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月「ひばり便り」を送り近状について報告を行っている。かぞくが面会に来やすいような雰囲気作りを心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人が訪ねてきたときなど家族にも連絡を取りながら面会できるようにしている。外出の機会が減ってきている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の性格や関係を把握し、コミュニケーションが取りやすいよう職員が間に入り会話を取り持つようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了した後に関係を続けていく方は少ない。外で会った時には挨拶をするようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人主体の生活ができるように話を聞き希望に添えられるよう努めている。今までの生活歴を知ることによってどのような生活を好まれるのか考え聞き取りを行うようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居意に生活歴などの聞き取りを行っている。又面会時に今までの生活について聞くこともある。情報は職員間で共有できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かな変化にも気付けるよう個別記録を行い職員間で共有できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	勉強会やカンファレンスを行い意見交換を行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や連絡帳を使い情報の共有に努めている。記録する際にはご利用者の言葉をそのまま記録するようにし、見直す時により詳しく状況を把握できるように行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じてそのときに何が必要なのかカンファレンスを行い、より良いケアを提供できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人がどのような地域資源を活こうよさされていたかわからないこともある。最近では外出の機会も少なくなり行えていないことも多い。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を決めて頂き、必要に応じて受診の手伝いなどを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回の訪問看護時に、相談・アドバイスを頂いている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院と管理者などがこまめに連絡を取り合い、その情報を職員にも連絡している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期について、家族の意向も確認し、またカンファレンスを行い、ケアの統一をしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	マニュアルを作成し、定期的に勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防の立会いで避難訓練を行っている。また、ほかにも定期的に自主訓練も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を常に尊敬する気持ちを持ち声掛けには気を付けている。生活歴、思いを常に思い接し方には気を付ける。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自主決定できるような声掛けを行う。また、どうしたらいいか確認の声掛けもしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースになるだけあわせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	生活歴をいつも念頭に置きながら、心地よく生活できるようにしている。洋服などはご本人に選んでいただいたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常会話をいれながら、一緒に生活する気持ちでいる。本人ができることはしてもらいながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>本院の能力に合わせた食事携帯で提供をこない、また専門職にも相談している。記録などチェックを行う。少ない方には声掛けしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、声掛けを行い、その方に合わせた方法で行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックを利用しながら、本人のパターンに合わせ声掛けや、誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事を工夫し、毎日牛乳や、食物繊維を多くとれるように心がける。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決まっているが、本人のペースや状況に合わせて行っている。心地よく入浴して頂けるように心がけている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	布団を整えたり、状況を見て休息してもらうようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表などを利用しながら行っている。申し送り等で状況の情報共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ることはしていただき、買い物や外出など支援している。ない日の生活の中で、ちょっとした変化を試みている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節ごとの外出をしている。また週1回の外出時にドライブに出かけたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理はご家族がしている。お小遣いを預かっており、外出時や、本人の嗜好品などを購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望されるときは、電話などしていただいている。また、本人宛の手紙は渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花や小物などで季節感を出すようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>落ち着いて過ごせる場所で、ソファやクッションを利用し過ごしていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを家から持ってきてもらい、心地よく過ごせるように心がけている。整理整頓をする。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全性に配慮し、どには物を置かないようにしている。手すり設置や段差などないように作られている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない